

都市再生整備計画 事後評価シート
揖保川山崎流域地区

平成29年10月

兵庫県宍粟市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	宍粟市	地区名	揖保川山崎流域地区			面積	323.0 ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	295百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名									
		基幹事業	市道今宿6号線(道路)/市道岸田4号線(道路)/(仮称)神河緑地公園(公園)/(仮称)かみかわづくり親水広場(地域生活基盤施設)								
	提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	市道今宿6号線(道路)			国交省河川改修事業の時期調整により、計画期間内での整備を見送った。			影響なし		
新たに追加した事業	基幹事業										
	提案事業	かみかわ緑地公園			事業成果の調査にあたり、予算処置を講じた。			影響なし			
交付期間の変更	当初				交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	神河中学校跡地の利用者数	人/日	16人/日	H22	30人/日	H28	47人/日	○	あり	
									なし		
	指標2	地域における教育活動への参加割合	%	32.9%	H22	44.0%	H29	32.9%	×	あり	次期アンケート調査後
								なし	●		
指標3	川の生きもの調査を実施する小学校数	校	1校	H22	9校(8校)	H29	8校	○	あり	平成30年10月	
								なし	●		
指標4									あり		
								なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	山崎納涼夏祭りの満足度	%	45.9%	H22		61.4%			これまでの山崎納涼夏祭りは市役所横の夢公園が利用されていたが、施設面積等の理由から大型のイベントが行われていなかった。今回の施設整備により夏祭りの会場面積が広がったことでイベント規模が拡大し満足度が向上した。	
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・かみかわ緑地公園の施設管理者である「かみかわ緑地公園保全会」は、施設整備を期に地域住民が主体となって結成され、自主的な施設の管理が進められている。 ・河川公園の整備により、河川環境を利用したイベントが開催されるようになったことで、市民と河川環境との距離がより縮まった。 										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
持続的なまちづくり体制の構築	かみかわ緑地公園の指定管理者募集について市民へ連絡したところ、河東地区在住の市民が核となって管理団体(KRK保全会)を立ち上げた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 環境基本計画を期に設立された「エコな未来を創造する宍粟市民の会(e-みらっそ)」が実施する環境イベント等で整備施設の利用を促したり、そのような活動を通じてKRK保全会とe-みらっそが連携するようにバックアップするなど、行政は後方支援に徹する。				

様式2-2 地区の概要

揖保川山崎流域地区(兵庫県宍粟市) 都市再生整備計画事業の成果概要

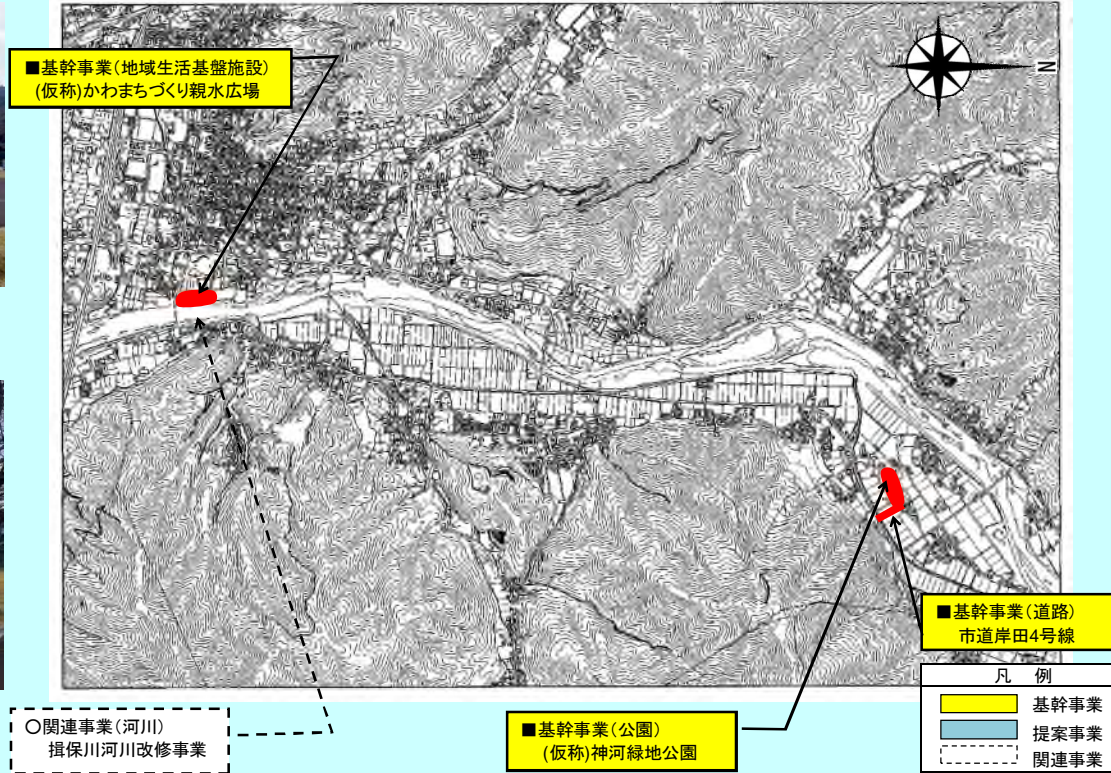
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【いのちをつなぐ揖保川共生空間の創造】 ・地域をつなぐ共生空間の創造【地域コミュニティの活性化と地域間交流の促進】 ・世代をつなぐ共生空間の創造【世代間交流と環境教育の充実】 ・生態系をつなぐ共生空間の創造【生物多様性の保全と持続可能な活用】	神河中学校跡地の利用者数	単位:人/日	16人/日	H22	30人/日	H28	47人/日	H29
	地域における教育活動への参加割合	単位:%	32.9%	H22	44.0%	H29	32.9%	H25
	川の生きもの調査を実施する小学校数	単位:校	1校	H22	9校(8校)	H29	8校	H29
	山崎納涼夏祭りの満足度	単位:%	45.9%	H22	-	-	61.4%	H29



かみかわ緑地公園(神河緑地公園)



かみかわ緑地公園(神河緑地公園)



せせらぎ河川公園(かわまちづくり親水公園)



市道岸田4号線

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・せせらぎ河川公園(親水公園)の整備により今宿・中広瀬地区かわまちづくり計画の推進が図られた。 ・かみかわ緑地公園はグラウンドゴルフや子育て世代の交流の場として利用されており、地区の交流拠点の整備ができたと考えられる。 ・かみかわ緑地公園は、近隣小学校等の環境教育や校外活動のフィールドとして活用されており、施設整備によって環境教育の充実が図られた。 ・河川環境の実態把握において、これまでの調査や保全活動の中ではまとまったデータに乏しいため、さらに踏み込んだ取組みが求められる。また、引き続き地域において、生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた取組みを推進する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・面たる基盤整備(ハード)はほぼ達成されたので今後はソフトの取組みとなる。 ・せせらぎ河川公園においては、水辺を利用したふれあい・にぎわい空間を創出し、山崎地区の中心市街地活性化を図る。 ・かみかわ緑地公園においては今後も定期的な管理を行い、地域の憩いの場としての環境を維持する。 ・河川環境の実態把握には行政、市民、環境団体、ボランティア、事業者、研究機関等といった多様な主体の連携が求められる。また、連携した取組み等を通して市全体の環境保全活動を進めることが必要であるため、宍粟市環境計画の推進するとともに、多様な主体に対して問題の共有を図る。